

丸亀で会いましょう

自分らしくすこやかにしあわせに生きよう!

人権研修会の講師として来てくださいました市場尚文さん。

「セカンドライフの健幸術～すてきにパートナーシップ」と題した講演は、「野に咲く花のように」「千の風になって」「涙そうそう」「ふるさと」「花」などを一緒に歌う和やかさ。“わたしらしくあなたらしく”生きることが、健康で幸せな生き方だと優しく語られました。地域で活動されている男性参加者が多くをしめていた会でしたが、「元気に年をとることが男女共同参画やったんや！」というつぶやきに、「男女共同参画で丸亀は元気になるに違いない」と嬉しく感じました。



市場尚文さん

市場さんは5年前にも男女共同参画講演会の講師として夫妻で来られました。

パートナーシップとは、“自立した個人が対等な関係で共生すること”だと説く市場さん自身、「かつては、妻との関係や職場で、“男はこうあらねばならないという鎧”にがんじがらめになり、しまいには体調を崩した。そこで初めて足を踏まれている側の痛みを知ったが、ジェンダーから解放されるのに10年かかった。それでもまだまだ…」と本音をボロリ。他者を尊重し、人の関わり方に真摯に向き合う素敵なかみを貰った気がしました。

現在は、メンズリブ・フォーラム岡山世話人。小児科医として岡山市保健所医療専門監として勤務。中学・高校・大学などへの性教育出前講座でもご活躍です。「過去と他人は変えることができないが、未来と自分は変えられる！」市場さんのメッセージに明日への勇気をもらいました。

*人間には生まれついての生物学的性別（セックス）と、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このようにして形成された男性、女性の別を社会的性別（ジェンダー）と言います。

お城まつり
期間中

「ゆめの部屋」に来てこんな！

とき・5月3日(土)・4日(日)10:00~16:00
ところ・生涯学習センター5階 ゆめ

図書・絵本の展示、DVD上映などを行います。
お気軽にご参加ください。

DVD上映会 1回目：10:00~、2回目：13:00~
問合せ先：市企画課男女共同参画室(Tel24-8839)

丸亀市では男女がともに生き生きと暮らせるまちを目指して「丸亀市男女共同参画推進条例」を制定いたしました。(平成20年4月1日施行)

パンフレットを、コミュニティなどの公共施設に置いてあります。学習会などでパンフレットが必要でしたら、企画課男女共同参画室までご連絡ください。

Information

ゆめオープン

「自分の体は自分で守ろう～運動と食生活から～」

とき：5月16日(金)13:30~15:00
ところ：生涯学習センター5階 ゆめ
主催：丸亀消費者友の会



図書の紹介



「へんなの」(自由国民社)
海の中で暮らしている魚からみると、人間世界での男や女のあり方が変なことも多いらしい。日常をゆったり見つめ直したくなる。

「友だちの作り方」(河出書房新社)
幸せな友だち関係を築くための大人的指南書
著者：中山千夏

編集後記

取材で幼稚園職員室にお邪魔していると、各クラスの日直の子ども達が、入れ替わり元気な声で出席調べ報告にきた。防災のための点呼の訓練と、はっきり表現する練習を兼ねているそうだ。全てが子どもの成長につながっていく。何でも毎日の積み重ねが大切。今日からできることを見つけよう。 (Y)

ゆめネットワーク情報紙

城南幼稚園



飯野小学校

丸亀市男女共同参画推進条例制定記念講演会

すてきにアナタらしく～個人の顔で生きていくですか～



2/20

講師の中山千夏さん(作家)は、体験を通したお話を、絵本「へんなの」の朗読をしてくださいました。

ほくのおばさんは水中カメラマン、化粧をしてなくて、髪も短い。「おんななのに。へんなの。」と言うほくを連れて海の中へ。

タツノオトシゴは、オスがお腹で卵を育てている。ミツクリエナガチョウチンアンコウのオスはメスのわき腹に小さくくっついているなど、ほくにとっては「へんなの！」がいっぱい。でも、魚たちからはほくの驚きが逆に「へんなの！」で・・・そんな海の中の不思議な世界にすっかり引き込まれていました。

誰かの「あたりまえ」や「普通」も別の誰かには「へんなの！」かもしれない、と海の中で出会う魚たちから教えられました。素直なほくの驚きに共感しながら、それぞれの存在そのものを認め合い、いろんな人、いろんな立場、みんな違って「かけがえのない存在」だから素晴らしいと気づきました。

柔軟な心でいること、自分らしく生きることの大切さがすっと心に入りました。中山さんの自然体の魅力と、お話を面白さに会場は笑いがあふれ、あっという間の時間でした。

【参加者アンケートによる感想より】

- 家庭の中での男女共同参画を一步ずつ進めていきたいと思っています。(女性)
- 日本の女性の歴史がよくわかった。女性の労働が正当に評価されなかった。家庭の中で男性が家事をすると男女共同参画となる。(男性)
- 明るく、ユーモアもあり、楽しいお話をしました。海の世界の体験をもとにした男性、女性の差異を認識したことなど、心に残りました。絵本の物語はよかったです。(男性)
- すごく勉強されて、男女の仕事を具体的にウイットに富んで面白く話された。またお話を聞きたい。(女性)
- 「古事記」の倭人の文化にふれ、男女共同参画を述べられたのが新鮮であった。(女性)
- 絵本朗読、大人が聞いても楽しかったです。私も何か一つ楽しいことを始めて外へ出ようと思っています。(女性)
- 日々の営みや仕事の達成感などの“喜び”こそ、生き甲斐や文化創造のエネルギーだと共感した。(女性)